



今年残念だったこと Best 3

読んであまり気持ちのよい話ではないと思うが、書かずにはおれんことです。

その1. 2試合連続完全試合ならず

ご存じ千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希投手、4月10日オリックス戦で完全試合を達成後の日本ハム戦。私はネット中継で固唾をのんで見守っていました。往々にして初回から打たれたり…とか思っていました。佐々木投手は淡々と3人ずつ打ち取っていきます。イニングを重ねるごとに危ない場面が増えてきたものの、8回までパーフェクト。世界初?の2試合連続完全試合に期待がかかります。しかし9回、井口監督は主審に交代を告げました。私は思わずパソコンの前で絶叫してしまいましたよ。世論は、これまでの佐々木投手の育成法からして納得とか、勇気を持ってよく交代させたという意見が主流でしたが。それって本心でしょうか? 105球という球数、しかも同点で延長もあり得るという状況だったことは分かりますが、行けるとこまで行ってほしかったと強く思いました。

その2. 急激な円安進む

昨年から急激に円安が進みました。従前から日本凋落→円安を見越していた予想通りの展開。保険関係を主にドル建て資産を持っていた私はホクホクのはず…なのに、実際には事情により円安が今ほど進む前に売却していたのです。本当にトホホです。逃した魚が大きすぎる…。で円転した日本円はあるのかということそれも無いのです。原因は私の病的な浪費です。詳しくは今とても書くことができません。

その3. コロナで急遽中止になった行事

10月に私が勤務する地域が、阪神地区の教科発表会をする予定でした。私が3年前から取り組んでいた指導方法を中心として、発表するつもりだったのですが…。

直前の週末に、公開授業の担当教員がコロナ罹患&クラスも学級閉鎖となりました。それでもあきらめず、急遽、代替のクラスの授業を代役ですることになり、急いで準備しました。しかししかし発表前日には代替クラスも学級閉鎖となり、ジ・エンド。発表会は中止になりました。急ごしらえで初見のクラスで公開授業をするというプレッシャーから解放され、正直ほっとする気持ちもありましたが、やはり発表会に向けて、2年前から準備してきたことが無くなってしまったことへの喪失感の方が大きかったです。